

令和8年度 奈半利町園芸用ハウス等リノベーション事業要望調査票(重要)

※来年度事業に関する要望調査です。県や町の予算確保のために事業活用を検討されている方は必ずご提出ください。

■氏 名

■住 所

■T E L

■申請ハウス面積 NO.1 (㎡)

■申請ハウス面積 NO.2 (㎡)

■申請ハウス面積 NO.3 (㎡)

分類	高度化につながる補助対象機器・資材	台数 (台)	分類	高度化につながる補助対象機器・資材	台数 (台)
(1)	☐ 外張り被覆資材 ※現状の資材名を確認できること	NO 1	(3)	☐ 止水シート ※現状の材質を確認できること	NO 1
		NO 2			NO 2
		NO 3			NO 3
(2)	☐ フッ素樹脂フィルム（屋根全面張り替え） ※現状で展張している資材名を確認できること	NO 1	(4)	☐ 内樋の新設 ※現状で内樋がない場合の新設を対象とし、既に内樋がある場合は対象としない	NO 1
		NO 2			NO 2
		NO 3			NO 3
(1)	☐ 環境測定装置 15～35万円程度／台 ※原則として新規導入に限り、センサーの追加や更新は対象としない ※環境データを送信するための専用の通信機器を含むが、通信費は対象としない	NO 1	(7)	☐ 統合環境制御装置 150万円程度／台	NO 1
		NO 2			NO 2
		NO 3			NO 3
(2)	☐ 炭酸ガス発生機 25～60万円程度／台	NO 1	(8)	☐ 除湿装置 50万円程度／台（2台／10a）	NO 1
		NO 2			NO 2
		NO 3			NO 3
(3)	☐ 炭酸ガス濃度コントローラ 10～20万円程度／台	NO 1	(9)	☐ ファインバブル発生装置	NO 1
		NO 2			NO 2
		NO 3			NO 3
(4)	☐ 炭酸ガス局所施用装置 （ダクト、ダクトリング含む） 13～20万円程度／台	NO 1	(10)	☐ 自動開閉装置 新規導入時に必要な資材の高度化を含む。ただし、処分制限期間を経過していない場合は、模様替等の承認手続きを行うこと。	NO 1
		NO 2			NO 2
		NO 3			NO 3
(5)	☐ 環境データ制御による灌水装置 40～150万円程度／10a ※日射量や土壌水分量に基づく自動制御であること。	NO 1	(11)	☐ カーテン資材 複数の機能性を有する資材に限る。 ※カーテン用POフィルムを含まない。	NO 1
		NO 2			NO 2
		NO 3			NO 3
(6)	☐ 細霧冷房装置 120～180万円程度／10a	NO 1	(12)	☐ 高機能遮熱資材 ※寒冷紗は対象外、遮熱機能があるものは対象	NO 1
		NO 2			NO 2
		NO 3			NO 3